

ツーリストシップ学習

【旅行観が変わる！】良い旅行生の行動ってなんだろう？

スポーツマンシップの観光客版である「ツーリストシップ」とは何か、様々な事例を通して学び、旅行する意味や自分自身の旅行行動を考えます。(ツーリストシップについては裏面をご覧ください)

■学習の効果

☑心構えて、修学旅行を自分たちの行動で楽ししようと動き出す生徒が増える

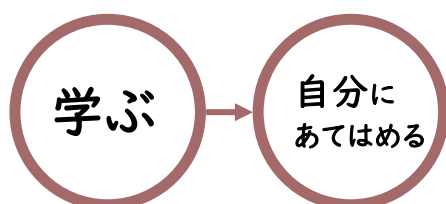
「もてなしてもらって当たり前」「楽しい時間を作ってもらうのを待つ」のではなく、自ら、旅先の文化に触れ合い、出会う人と交流をすることで楽しい思い出ができることを学び、行動変容に繋がります。

☑コミュニケーションの知識で、楽しい思い出が増える

学習の中で寄り添いや交流のための具体的な行動を学ぶことで、旅先で出会う様々な人との交流をより楽しむことができます。その結果、交流することでしか得ることのできない一生に残る思い出が築けます。

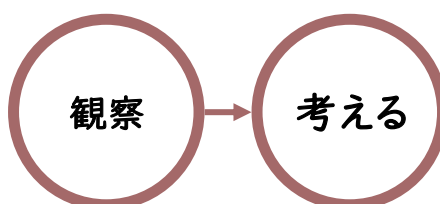
■学習の流れ

旅行前研修



ツーリストシップや理念、その背景を学び、自分の修学旅行の行動に生かす

旅行中研修



旅先でのフィールドワークや自分の旅行経験からツーリストシップを考える

旅行後研修



振り返りからツーリストシップ理解を深める

■詳細

料金： 旅行前研修または旅行中研修
3,000円(税別)×人数 + 講師派遣交通費

旅行後研修 旅行中または旅行前研修とセット
+500円(税別)×人数 + 講師派遣交通費

場所： 全国対応可能

時間： 50分から120分

人数： 20人から600人

申し込みフォーム⇒



※実施風景写真

■生徒様の声

「ツーリストシップは旅行をするうえでとても重要なことだと思います。なのでみんなが知って当たり前になるように広めることも大切だと思います。」

今日の授業を聞いてみんなも授業を受けるべきだと思います。」

「今回学んだことを修学旅行だけでなくこれから行く先々で実行出来たらなと思います。」

「今回ツーリストシップを学んで私はやはりどんなことも人を思いやる気持ちが大切なんだと思いました。」

「今回学んだことは、自分が楽しくかいてきに過ごしたい!キレイなところに行きたいと思うなら、まずは自分が環境や周りに配慮しなければいけないということを学びました。」

ツーリストシップとは？

☑住む人、働く人、訪れる人、みんなが互いに寄り添い交わる世界を、訪れる人目指す

日本をはじめ、世界中の国が今、多大なる力を入れているのが、観光産業です。日本の全世代趣味ランキング一位の旅行は、楽しく余暇を過ごす手段となるだけでなく、世界の10人に1人の雇用を作り、世界のGDPの10%を支えます。

そんな観光産業が盛んになることの、デメリットもあります。例えば、観光客の過度な受け入れ、過度な観光開発等により、その街の住生活が困難になっているのです。

私たちは、住む・働く・訪れる皆が心地よく、そしてお互い交流しあう世界を築くべく、旅行者（訪れる者）からの寄り添い交わりの一歩を築くお手伝いをしております。



国連UNWTOより引用。
国連が上記のように訴えるほど、
世界で観光の重要性は高まっている。

☑ツーリストシップの具体行動「HARF」

ツーリストシップとは、スポーツマンシップの観光客版で、地域と共存共栄する旅行者の心構えを指します。地域の人や文化、自然に、「寄り添う」こと、「交流」することは全てツーリストシップですが、授業では具体的なツーリストシップの行動を並べ、厳選しツーリストシップ5か条を作っていただきます。



「HARF」	
Look up	調べる
Hello	挨拶
Ask	聞く
Read	読む
Follow	守る
Leverage	活かす



ツーリストシップで重視しているのは「寄り添い」と「交流」です。例えば「L:調べる」では、「文化や風習」を寄り添うために調べ、「その地の方言や言葉」を交流するために調べるのがツーリストシップ。「H:挨拶」は、敬意を示すための挨拶もあれば、交流をするための挨拶もある。このような形で、旅先の地域に寄り添い、地域と交わっていく行動を考えていき、自分なりの旅を楽しむツーリストシップを探していただきます。

☑一般社団法人ツーリストシップについて

ウェブサイト



設立: 令和元年10月9日

代表: 田中千恵子 (京都大学在学中に設立、卒業後現在ダイドリンク株式会社プロ契約)

法人概要: 世界で初めてツーリストシップを提唱。理事に、観光庁元長官、大手旅行会社元役員、大学教授、IT企業経営者など。2020年6月30日に観光庁より発行された、国際基準に準ずる「日本版持続可能な観光ガイドライン」にて、持続可能な観光の実現に向けた先進事例として紹介される。新聞・雑誌・テレビ等、全国でのメディア実績多数(一部を以下にご紹介。)

